

ワンスモアブックスフェア結果報告

9月の古本市2日間（販売時間10時～13時）の来場者は約700人（うち購入者445名）でした。

期間	平成30年9月7日（土）・8日（日）
場所	座間市立図書館 2階講座室
主催	座間図書館ボランティア友の会
準備したリサイクル本	7,569冊
販売冊数	4,764冊
販売金額（1冊10円）	47,640円
経費（ポスターコピー代等）	1,288円
ワンスモアブックス積立金へ	46,352円

◆30年度ワンスモアブックス積立金残高
171,455円

入会して思うこと

友田美知子

座間図書館ボランティア友の会に入会して1年半になります。

私自身60代半ばになり、自分の人生を振り返った時に、ずっと仕事と子育てに追われ、子育てが一段落したと思ったら、次は遠方に住む親の介護が始まりました。親の介護を通して、あと自分は何年心身共に健康で過ごせるのだろうかと考えた時に、元気で動けるうちに何かしなければと思いました。その1つがこの友の会に入会して活動する事でした。

年に2回の古本市の開催がこの会の最大のイベントになります。毎週水曜日にこつこつリサイクル活動をして古本市に出す本の準備をしています。

入会する前はただボランティア活動するだけかなと思っていましたが、入ってみて驚きました。図書館活用講座と称し、校外学習や他の図書館の見学、そのための事前の学習会があります。また、図書館を利用して調べたことをまとめ、発表しあうなど、お互いに学びあう場にもなっています。それを会員のみなさんが20年も続けていらっしゃることに頭が下がります。年令を重ねても、学ぶこと、共に学びあうことの大切さを感じました。

これからも心身ともに健康でいられる限り、いろいろなことにがんばっていきたいと思います。



■ボランティアのおさそい

《会員募集と一日体験の受付》

簡単なリサイクル作業など友の会の活動を体験することもできます。まずは図書館にご連絡ください。

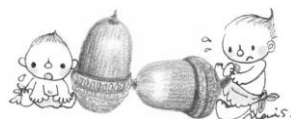
毎週水曜日の午前中に活動しています。

平成30年度の活動（4月～10月）

- 30年 4/11 友の会20周年記念定期総会
- 4/18 第1回活用講座「自然とふれあう～日向薬師」
- 5/10, 16 市内小学校見学案内（相模野小、旭小）
- 5月 会報友の会だより50号発行
- 6/6, 7 図書館特別館内整理に協力
- 6/13 第2回図書館活用講座「明治時代の新聞広告を探る体験」
- 9/7, 8 ワンスモアブックスフェア開催
- 9/19 第3回活用講座「見学会事前準備と新聞広告情報交換」
- 9/26 日本新聞博物館見学会
- 10月 会報友の会だより51号発行

上記の活動以外に

- *毎月第1金曜日の館内整理日に協力
- *毎週水曜日午前中は定期的に活動



表紙イラスト：関川麻里さん

表紙題字：故萩本成美さん

◆活動に興味のある方は、下記の連絡先にお問い合わせください。

連絡先

◇座間図書館ボランティア友の会

会長 遠藤 TEL046(256)2264

◇座間市立図書館

TEL046(255)1211

編集・発行

座間図書館ボランティア友の会事務局

2018(平成30)年10月

聖門図書館

ボランティア

友の会

だより

第51号



座間図書館ボランティア友の会

友の会主催図書館活用講座「日向薬師」の記録

◆平成 29 年度第 5 回講座（平成 30 年 3 月 28 日）

「ぶらり参詣（日向薬師）平成の大修理」

平成 29 年 6 月の朝日新聞で、「日向薬師 平成の大修理」（江戸時代以来 270 年振りに 6 年の歳月を掛け解体修理を行い昨年 11 月完成）の記事を読み、一度も訪れていないこともあり夏にぶらり参詣した様子を、会員の大槻さんが昨年 9 月に報告されました。そして 3 月の第 5 回講座で、9 月の参詣の様子をさらに深く調べてまとめた内容や情報を伝えていただきました。

◆平成 30 年度第 1 回講座（平成 30 年 4 月 18 日）

「自然とふれあう講座～日向薬師」日向薬師周辺散策

3 月末に 29 年度第 5 回図書館活用講座で「ぶらり参詣（日向薬師）平成の大修理」を聞き情報を得てから、4 月 18 日に会員の橋川理恵子さんの案内で、30 年度の第 1 回図書館活用講座「自然とふれあう～日向薬師」を実施しました。天気予報では数日前から 18 日が雨天という情報のため、いろいろ迷いましたが当初予定していた時間とコースを変更し集合時間を 3 時間遅らせスタート。ランチを楽しんだ後に日向薬師に向かいました。

……図書館活用講座「自然とふれあう講座」を振り返って……

橋川理恵子

2018 年 4 月 18 日（水）図書館活用講座「自然とふれあう」第 12 回目として、伊勢原市の日向薬師（宝城坊）を訪ねました。これは、メンバーの大槻さんの調べ学習とコラボした企画です。

友の会発足 20 年の節目の年にあたり、自然とふれあう講座（企画案内：橋川）のこれまでの内容を振り返ってみました。

- 2007（平成 19 年）10 月町田市「武相荘」、岡上地区里山散策
- 2008（平成 20 年）11 月伊勢原市大山寺ハイキングと豆腐料理
- 2009（平成 21 年）11 月宮ヶ瀬ダム放水見学、ダム湖遊覧
- 2010（平成 22 年）11 月青梅市御岳神社参拝、玉堂美術館見学
- 2011（平成 23 年）11 月立川市国営昭和記念公園散策
- 2012（平成 24 年）11 月県立七沢公園散策、黄金井酒造酒蔵見学
- 2013（平成 25 年）11 月南足柄市大雄山最乗寺、宿坊で精進料理
- 2014（平成 26 年）11 月飯山観音 雨で中止
- 2015（平成 27 年）4 月八王子市多摩森林科学園、サクラ保存林
- 2016（平成 28 年）4 月町田市鎌倉古道七国峠新緑ハイキング
- 2017（平成 29 年）4 月八王子市滝山城

2018（平成 30 年）4 月伊勢原市日向薬師、イタリア料理ランチ

これら 12 回の講座以前に、2004（平成 16 年）11 月に厚木市鷲尾山に一等三角点を訪ね、2006 年（平成 18 年）9 月に埼玉県日高市の巾着田へ彼岸花を見に行きました。いずれも調べ学習ハイキングとして企画されたもので、この時のフィールドワーク体験が 2007 年からの「自然とふれあう講座」へとつながっていきました。図書館の資料で目的地の歴史や見どころを調べて、テーマをもって現地へ向かうというのがこの講座の一貫した流れです。そして当日はウォーキング、学習、美味しいもの、季節感を味わう、友の会全員のこれまでも増した熱意と好奇心で今後も継続させていきたいと思ひます。

30 年度第 2 回活用講座「明治時代の新聞広告を探す」

◆平成 30 年 6 月 13 日（水）10：30～11：00 参考図書室

6 月 13 日友の会の活動は、明治時代の新聞から広告を探そうという体験学習です。広告からその時代の様子を探ることができます。9 月に予定されている新聞博物館見学の事前学習を兼ねて行いました。座間市立図書館の参考資料室にある「朝日新聞縮刷版」から、明治時代の新聞に掲載されている広告を見ていきます。興味を感じた広告をコピーし、切り抜くところまでがこの日の作業です。

明治の新聞を初めて見ました。文字は旧字体、旧仮名遣いで横書きの文は右から左へ読みます。記事の見出しは小さく文章を読まないといふ内容はわかりません。しかし広告は図も文字も大きく、キャッチコピーも工夫されていて目を引くものが多いです。様々な分野の広告があり面白く、どれを選んでもよいか分からなくなりました。

切り抜いた広告をテーマに、明治という時代や暮らしについて、図書館の本やネットを使って調べることは夏休みの自由研究になりました。

<会員が探した広告>

明治 43 年 7 月ミツワ石鹸

明治 45 年 5 月ライオン歯磨き

明治 24 年 12 月死体仮埋葬

明治 23 年 8 月うさぎ買入れ

明治 22 年 9 月薬用峡燦赤白葡萄酒

明治 35 年 1 月軽便「瓦斯の煮焼」

明治 38 年 1 月、40 年 2 月等 ゼム

明治 44 年 8 月ピストル販売

明治 31 年 1 月徴兵保険株式会社

明治 21 年 8 月「磐梯山噴火実況」本広告

明治 45 年 7 月明治天皇崩御の喪章特価販売、呉服店休業

明治 38 年 8 月新聞の第 1 紙面が全部広告なのはどうか



30 年度第 3 回活用講座「明治時代の新聞広告を探す」

◆平成 30 年 9 月 19 日（水）10：30～11：30 第 3 書庫

いよいよ見学会が目前に迫った 9 月 19 日（水）、見学会の事前学習として第 3 回講座を開催し、夏休みにまとめた作品の紹介や、それぞれが探した広告について情報交換しました。

<会員が探した広告：追加>

明治 30 年 1 月「新小説」



ニュースパーク日本新聞博物館 見学会

◆平成 30 年 9 月 26 日（水）10：00～12：00 参加者 11 名

9 月 26 日、日本新聞博物館を訪れ、特別展や常設展を見学して情報や新聞についての理解を深めました。

特別企画展＋常設展の見学

特別企画展の「明治 150 年特別企画 新聞が伝えた明治—近代日本の記録と記憶」を学芸員の方に案内して頂きました。

第 1 コーナー「明治維新と近代新聞の誕生」（明治元年～10 年）、第 2 コーナー「自由民権運動の展開」（明治 11 年～20 年）、第 3 コーナー「帝国議会の開設」（明治 21 年～30 年）、第 4 コーナー「社会の変容と大衆化」（明治 31 年～45 年）の構成で、紙面とパネルを年代順に並べて明治時代を振り返り新聞の変遷と発展が紹介してあり、特別展の入り口には、法被を来た新聞配達員の人形が置かれていて一緒に写真が撮れるようになっていました。

常設展示見学後、事前学習で出た疑問や質問について学芸員から詳しい解説を聞き、明治の新聞広告を通してその頃の世相や時代背景や新聞の歴史等を学ぶことができました。

参加した感想

▼新聞報道が戊辰・西南戦争を始めとして次に自由民権運動の政党色そして日清・日露戦争の報道を経て大衆化へと明治の時代背景とともに変遷していった状況を解り易く説明案内頂き勉強になりました。また事前学習「明治 2 年磐梯山噴火」（報道と広告の力）を通して疑問に思っていた事（情報伝達技術が発達していない時代、記事～配達までどの様な技術・手段によって一夜にして報道が成り立ったのか）が日本新聞博物館見学により解り有意義な見学でした。

▼エントランスに設置されている VBW 型輪転機（1979～97 年まで静岡新聞社で実際に使われたオフセット印刷機）は巨大で迫力でした。明治期に活躍したマリノニ型輪転機（活版印刷・鉛で活版を作る！）も展示され、印刷にも外国の技術がいち早く取り入れられたことがわかりました。

図書館館内整理作業に参加して

以前から図書館は月曜日が閉館日と認識していました。数年前の、おそらく水曜日だったのでしょう。借りた本が 2 週間目となったので本の返却と借りにやってきましたが、その日は閉まっていた、これから 1 週間閉館、と書いてありました。何なのかな？で帰ったままでした。

そして、友の会へ参加させてもらって 3 か月。初めて館内整理に参加させて貰いました。1 年に 1 回、1 階から地下室にある全ての本をバーコードでチェックすることを知りました。図書館職員からして、友の会の人、お話しの人など大勢の人が手を掛けてチェックし、さらに職員の方はその後の作業があるのでしょうか。こうした仕事があつて、我々は無料で本を読む事が出来るのです。これからは感謝の気持ちを持って友の会の作業をさせてもらいます。（三輪眞義）

